

# ゆうばり 市議会だより



全面改築される特別養護老人ホーム“清光園”完成予想図  
(来年3月完成予定)

## NO. 53

平成18年8月1日発行

発行 / 夕張市議会

編集 / 議会運営委員会

TEL(0123)52-3172(直通)

FAX(0123)52-2228

|                 |   |
|-----------------|---|
| 第2回定例会.....     | 2 |
| 可決された意見書.....   | 3 |
| 一般質問 .....      | 3 |
| 第2回臨時市議会.....   | 2 |
| 常任委員会の活動状況..... | 6 |
| 議会日誌 .....      | 8 |
| 編集後記 .....      | 8 |

第3回定例市議会は  
9月開催です。

# 第2回 定例会

平成18年6月20日火～22日木

## 「再建団体」正式表明!

### 第一回財政再建調査特別委員会

市長は、六月二十日開会した定例市議会の冒頭、「市民に不安と心配をかけていることにお詫びしたい」と述べた上で、「市の財政状況は国、道の支援が得られなければ行政の継続が困難な状況にある。自力での財政再建は無理と判断し、法の下での再建に取り組むという重大な決断をした」と、財政再建団体の指定を国に申請することを正式に表明しました。

特別委員会で行われた質疑は次のとおりです。

国保会計、老健会計の一時借入金は、前年度繰上充用のための借入金なのか。

財政再建対策本部の機構と体制、具体的な取り組み、また再建計画における行財政正常化方針の位置付けは。

法の下での準用再建について。十八年度予算執行の考え方、病院会計の法的再建の考えは。十八年度の直面している事業の今後の展開について。

市民周知への対応について。再建計画が長期に亘ることが予想されるが、法との兼ね合いは。

子どもにも市の現状、今後の方向等を教えるべきでは。市職員の削減を現段階でどう考えているか。今後、市民のやる気をどう受

七月四日 出席十六名

け止め、行政に反映させるのか。

現時点の金融機関の反応について。

市民周知ではなく、市民の声を聞き国や道に向けての市民運動を行うべきでは。

市民参加の調査・計画の会をつくるべきでは。

### 議長メッセージ

夕張市は自主再建をあきらめ、財政再建団体の申請をすることとなりますが、今後の手続きの中で再建団体申請案の議決と再建計画の議決が必要になります。議会としては、福祉・医療など市民生活に直接関わる政策を重要視した再建計画となるよう国、道に強く要請したいと考えておりますので、市民の皆様の一層のご理解とご協力をお願いいたします。

### 第二回

## 臨時会

平成十八年六月二日

### 議会人事を決定

平成十八年第二回臨時市議会は、平成十八年六月二日に開かれました。

臨時会は、冒頭に亡くなられた高橋議長に黙祷をささげ、板谷信男議員による追悼演説が行われました。

今臨時会は、高橋議長逝去に伴う二連の議会人事であり、主な案件について次のとおり決定しました。

議長

岡崎光雄

副議長

板谷信男

南空知ふるさと市町村圏組合議会議員

岡崎光雄

常任委員会の所属変更

(建設経済常任委員会から総務文教常任委員会へ)

角田浩晃

平成十八年第二回定例市議会は、六月二十日から二十二日までの三日間の会期で開かれまして。市長並びに教育委員長の行政報告が行われ、二日間に行わたって五人の議員が一般質問を行いました。（主な質疑答弁はP3～P6に掲載）

三日目は、平成十八年度一般会計補正予算をはじめ、平成十七年度並びに平成十八年度の各会計補正予算の専決処分、指定管理者の指定、条例改正等提出議案を全て原案どおり可決、承認し閉会しました。

## 主な審議案件

夕張市体育施設設置条例の一部改正について

旧北海道夕張緑ヶ丘実業高等学校グラウンドを球場として活用するため、条例の一部を改正しました。

夕張市国民健康保険条例の一部改正について

国民健康保険法施行令の一部を改正する政令の施行に伴い、条例の一部を改正しました。

夕張市共同浴場設置条例の一部改正について

共同浴場の入浴料金を改定するため、条例の一部を改正しました。

夕張市リフレッシュセンター清陵設置条例の一部改正について

リフレッシュセンター清陵の入浴料金を改定するため、条例の一部を改正しました。

指定管理者の指定について

公の施設の管理者について、指定管理者により行うため指定管理者を指定しました。

平成十八年度各会計予算を追加補正しました

一般会計四、六一万三千元  
老人保健医療事業会計  
三、七二八万六千円  
病院事業会計 六五〇万円

平成十七年度並びに平成十八年度各会計補正

予算の専決処分を承認しました

平成十七年度一般会計他五会

計、並びに平成十八年度一般会計他九会計の補正予算専決処分を承認しました。

関連団体及び企業の経営状況、決算についての報告

平成十七年度夕張市土地開発公社事業報告及び決算報告

平成十七年度財団法人夕張振興公社事業報告及び決算報告

㈱石炭の歴史村観光経営状況報告

夕張木炭製造㈱経営状況報告  
夕張観光開発㈱経営状況報告

## 可決した意見書

平成十八年第二回定例市議会で可決された意見書は次のとおりです。これらは、内閣総理大臣をはじめ、衆・参両院議長、関係大臣に送付しました。

第一号 医師・看護師等の大幅な増員を求める意見書

第二号 郵便局の外務事務を統合する計画に反対する意見書

第三号 道路整備に関する意見書

第四号 自治体財政の充実・強化を求める意見書

第五号 森林の違法伐採問題への取り組み強化を求める意見書

第六号 教育基本法の理念を生かす意見書

平成十八年第二回定例市議会における一般質問者は、次のとおりです。

井形 節雄議員（市民連合）

多喜 雄基議員（高志会）

角田 浩晃議員（民政クラブ）

小林 孝雄議員（公明党）

熊谷 桂子議員（共産党）

の順で行われ、市理事者の考えをいただきました。

質問と答弁の主な内容は、次のとおりです。

サイクリングロードの再点検について

質問(1) サイクリングロードについて分かりにくい箇所があるので、標識など再点検が必要ではないか。

答弁(1) サイクリングロードは昭和六十一年に整備し供用開始後、市民及び観光客に、サイクリング、ジョギング、ハイキング等に利用され親しまれている。毎年、雪解け後、路面清掃、防護柵など安全施設の点検整備を行っているが、安全に必要な補修をしていく。標識についても整備する。

質問(2) 自転車貸し出し業務の

再開について伺いたい。

答弁(3) 「黄色いリボン」での貸し出しは停止したが、ホテルシューパ口及びホテルレースイに自転車を配備し、市民の要望に応えていきます。

### 職員の育成について

質問(1) 近年地方分権・権限移譲が課題となっているが、自治体職員の力量が要求されると聞く。そこで職員の研修はどのようになされているのか。

答弁(1) 北海道の自治政策研修センターの廃止により、他の施設での宿泊が伴う研修が必要となった。困難な面もあるが、予算の範囲内で工夫をして可能な限り多くの職員に研修の機会を与えるよう検討していきたい。

質問(2) そのための経費の確保について伺いたい。

答弁(2) 過去に実施していた長期間あるいは道外への派遣等は困難であるが、前述の通り研修指導者の養成に努め、あらゆる機会や方法を人材育成に活用していきたい。

### 学校の耐震度調査について

質問 市内小中学校の耐震度診断について伺いたい。

答弁 昭和五十六年以前、いわゆる新耐震基準施行以前に建築された建物は、校舎二校、体育館四校である。学校は児童生徒が一日の大半を過ごす場であり、また災害時の地域住民の避難場所ともなる施設なので、安全を確保することは必要不可欠と考えている。

診断には多額の経費も必要となることから、市長部局とも協議しながら早急に対応したいと考えているのでご理解願いたい。

### 高校問題について

質問 道教委の発表した「高校教育に関する指針」によれば、夕張高校は統合の対象になるのではとの危機感を抱いているが、現段階での市教委の対応について伺いたい。

答弁 道教委によれば一学年四〜八学級を適正規模とし、三学級以下は原則として近隣校との再編整備をするとの原案を公表した。道立高校の四十七%がそれに該当する。夕張の場合、通学時間や下宿など、保護者の負担増が考えられ、高校教育を受けることが困難になる者も出るのではないかと。先に岩見沢で行

われた意見を聞く会でも教育長から強く申し述べた。今後、高等学校対策委員会で道教委の状況を把握しながら強力に対応していきたい。

### 予消防対策について

質問(1) 木造老朽住宅等の査察点検及び市営住宅の漏電対策は、

答弁(1) 木造老朽住宅の査察点検は、火災予防期間に毎年、各地区の消防団員により実施しております。また、市営住宅の漏電点検は北電株が電気事業法に基づき、四年に一度の点検を電気保安協会に業務委託し点検を実施しております。その結果を当市が受け、指摘事項については、確実に専門電気業者に発注し住宅の保安管理を実施しております。

質問(2) 住宅火災警報機の設置義務づけについて。

答弁(2) 設置義務の猶予期間は、新築住宅については、本年六月一日から、既存住宅については平成二十三年六月一日からとなっております。市営住宅は、対象戸数が現在二千九百八十九戸あり、平成十九年度から平成二十二年年度までの四ヶ年で、市が

設置する方向で検討しております。

### 企業誘致について

質問(1) 企業誘致にかかる情報活動や実際の働きかけなどはどのように進めているのか。

答弁(1) 平成十七年度には、有料老人ホームも含め五十六社を訪問いたしました。しかしながら、厳しい景況が続いており、

具体的な成果はありません。前年度の市内における進出等の状況は、新規ではリース会社が二社進出し、進出企業においては二社が設備の増設を行いました。質問(2) 工業団地の立地状況は、

答弁(2) 紅葉山の工業団地は、六社が立地しており、閉鎖中が二社です。南清水沢の工業団地は十一社が立地し、その他分譲中は二区画にて、工場閉鎖中は二社であります。沼ノ沢の緑陽工業団地は一社が立地し、分譲中は五区画となっております。

質問(3) 緑陽工業団地内にある公園予定地の造成計画は、

答弁(3) 公園造成は工業団地の分譲状況を見て計画、検討してまいります。質問(4) 公園予定地の地下には

炭鉱施設の基礎の残骸が残っていると聞いているが、公園造成に支障がないのか。

答弁(4) これは旧北炭新鉱の選炭機及びシツクナーのあった位置であり、この基礎などが残っておりますが支障ありません。

### 道路問題について

質問 街路事業の進捗状況と今後の事業計画について。

答弁 地元主体で進めている夕張本町土地区画整理事業と併せて都市計画道路3・4・3千代田丁未線の整備に取り組んでおります。昨年十二月に本町橋が完成し、「想い出橋」市立病院間の道路が一部供用開始されております。平成十八年度以降の工事のうち、今年度は「社光橋」サイクリングターミナル、

来年度は、新社光橋と「サイクリングターミナル」ファミリースクールふれあい」までの区間の道路工事を予定しています。

### 市立総合病院について

質問(1) 医師不足に対する対策は、

答弁(1) 今後も医師確保には全力を傾けるが、一自治体での医師確保が難しい状況にある事か

ら、診療科目の見直しと、近隣医療機関との連携の中で対応を検討してまいります。

質問(2) 救急体制の改善策として、重篤なケースには市外病院に直接搬送する事になり救急車の確保等、消防体制全体に對しどのような考えなのか。

答弁(2) 救急一号車が市外の病院に直接搬送した時には、救急二号車が市立総合病院まで搬送する事となっております。消防職員の対応としましては、非番公休者を待機させており、今後も適正な人員配置を考えてまいります。

質問(3) 道立高等養護学校に對する医師・看護師の対応は。

答弁(3) 小児科医の代わりに院長が対応しており、看護師については今後は、学校側の要請に對応してまいりたい。

**観光政策について**

質問(1) ニセコ、富良野を代表に海外からの長期滞在型観光で成果を上げている状況があり、本市の取り組みとして、NPO法人等独立した集客機関が必要と思われるが、その考えは。

答弁(1) 現在は第3セクターが

集客活動の中心となつて居る状況があります。今後は先進地と比較調査をいたしまして地域状況等考えながら、検討してまいります。

質問(2) 道内の観光地、旅行者との連携が重要と思われるが、本市の考えは。

答弁(2) 本市の観光協会と富良野観光協会のような同じ組織体の中での連携を模索し、両観光協会が連携できるようであれば市は、支援してまいりたい。旅行者との連携は、今後の検討課題としてまいります。

**ごみの分別収集について**

質問(1) 分別方法の周知について、どのような対策を取るのか。

答弁(1) 分別収集に当たっては、分別方法等の周知を図るため、本庁・各連絡所管内でそれぞれ数回ずつ、合計二十回程度の地域説明会の開催を予定しております。また、分別ルールを記載したリーフレットを各戸配布し、周知徹底を図りたいと考えております。

質問(2) 有料化に對する考えは。

答弁(2) 有料化は、市民負担の増を伴い不法投棄の増加が懸念

されるところではありますが、全道の有料化の状況は、七十五%を超える市町村が、何らかの形で家庭系ごみの有料化を実施し、年々増えていく傾向にある事から、リサイクルによる減量を促進すると共に有料化について検討してまいります。

**観光問題について**

質問 今後の映画祭における継続及び縮小等の基本的な考えは。

答弁 「ゆうばり国際映画祭」は、今年の二月で十七年の歴史があり、継続して実施してきた事で多くのファンを獲得し、映画関係者、映画ファン、市民などの方々に支えられて来ました。今では夕張の財産となっているこの国際映画祭を実施するため、映画祭実行委員会を開催し準備を進めていますが、今後は、国、道、夕張市と行財政協議において、映画祭のあり方も論議されるものと判断しているところであります。

**保健・福祉問題について**

質問 母子保健計画について

主要課題の問題認識と取り組み  
本市での母子保健計画の現状と進捗状況について

答弁 「子どもの安らかな発達と育児不安の軽減」等の主要課題について、少子化が進んでいる本市において、重要と認識しており、このための事業の推進を図ることが必要と考えています。昨年三月に少子化対策としての「夕張市次世代育成支援行動計画」を策定し、平成二十六年までの計画となっており、本計画の実施についての一例の中で「母性並びに乳幼児の健康の確保」の施策では、乳幼児を対象とした各種健康診査や健康育児不安の軽減を目的とした、各母子相談事業を実施しており、今後とも計画の推進に努めてまいりたい。

**消防問題について**

質問(1) 防火査察について

グループホーム等の介護施設における防火査察の現状 介護施設における今後の防火対策と取り組みは。

答弁(1) 介護施設・グループホーム等の防火査察は、毎年市内の介護施設七ヶ所を実施しており、さらには、国からの通知により、重点的にグループホームを対象として防火査察を一月に

四件実施し、法令上違反はなく、今後は、各施設関係者に理解を得ながら、防火対策上死角となる部分を含めた防火指導を実施してまいります。

質問(2) 消火栓、防火水槽等の水利施設の点検等について。

答弁(2) 市内における水利施設は、消火栓二百二十基、防火水槽百四十四基を設置し、自然水利百一ヶ所を指定し点検しており、消防水利の基準については、充足率百十五%となっております。なお、水利条件が十分満たされていない所は、本年四月に導入した五トンの水槽車を活用してまいります。

質問(3) 消防体制の組織について今後の取り組みは。

答弁(3) 本市における消防団の構成は、十二分団、定員三百五十名、内、女性団員は二十五名となっており、近年の若年層の市外流出と高齢化により今後機能的な分団の再編を進めてまいります。また、地域の防火体制を強化するため公共団体職員等の入団を促進してまいります。

**財政問題について**

質問 市長は危機的財政問題の

解決のために、夕張市の財政再

建団体への指定を申請すること

を表明した。北炭夕張新鉱の大

災害とそれに続く閉山は、企業

の社会的責任を放棄した。北炭

の無責任な撤退』を容認し、政

府のエネルギー転換政策の加速

によって、極めて深刻な地域崩

壊の危機をもたらした。そのた

め夕張市は基幹産業を失い、地

域の再興を観光産業に求め、現

在に至っている。確かに国の三

位一体の構造改革路線攻撃や、

相次ぐ地方交付税の大幅な減額

はあった。しかし、市長は観光

偏重・拡大路線の破綻などを、

見通しのまったくない、不正常

な財政運営の繰り返しによって

覆い隠してきた結果、取り返し

のつかない市民生活への危機と、

将来にわたる深刻な困難を生じ

させた。市長就任時の決意表明

にもあるとおり、市民は誤った

行政運営や古い政治手法につい

て、改めることを期待したはず

であり、市長の政治責任は極め

て重いことを厳しく指摘する。

市民に対しては、緊急メッセージを広報などで伝えるとのことだが、そのようなやり方でよい

のか。

答弁 市民に不安な思いをさせ、

心配をかけたことは、誠に残念

であり、無念に思っている。市

民には広報などで広く状況を伝

えたい。

再質問 単なる紙面上での伝達

ではなく、たとえば地域の住民

団体や住民組織の代表に、直接

市長の肉声で、これまでの市政

運営や今回の決断が市民生活に

及ぼす影響などについて率直に

述べ質問に答えるなど、市政の

危機にあつて市長の政治責任を

明確にした説明責任を果たされ

るよう、意見として申し上げる。

**高校統廃合について**

質問 地元唯一の夕張高校を守

るために、市長としてどのよう

な対応を考えているか。また、

他地域への通学が困難な場合に

は、「地域キャンパス校」という

名称で、少数の教師で学校運営

をし、教師不足分をビデオや他

校の教員で補うという案が出さ

れた。どのように対応するのか。

答弁 市長として夕張高校の存続に全力で取り組み、改めて示される案を含め、議会や高等学

校対策委員会で検討していきたい。

**患者負担の少ない薬剤を**

質問 新薬（先発医薬品）の特

許切れの後に販売される、ジェ

ネリック医薬品（後発医薬品）

は、新薬の半分〜一割の価格。

米国や英国、ドイツでは、後発

品の使用が全体の五割を超えて

おり、WHOも使用を推奨して

いる。患者負担を軽く、また、

医療費削減のためにも、市の医

療施設で、ジェネリック医薬品

の積極的な使用と市民への啓発

が必要ではないか。

答弁 現在後発品の使用は全体

の八％。品質管理・情報提供・

安定供給等を見極め、医師と協

議しながら使用促進を図ってい

きたい。

# 常任委員会の活動状況

平成十八年四月～六月

## 総務文教 常任委員会

第五回 五月二十六日 出席五名

消防本部 火災の発生について

ドクターヘリ要請の概要につ

いて 救急管外直接搬送について

職・団員の人事異動について

総務部 人事異動について

教育委員会 平成十九年度公立高等学校適

正配置計画地域別検討協議会

について 新たな「高校教育に関する指

針」（素案）に係る意見を聞

く会について

第六回 六月十六日 出席五名

消防本部

行方不明者の捜索について

ドクターヘリ要請の概要及び

平成十七年度ドクターヘリ出

動件数について

叙勲伝達式について

夕張市非常勤消防団員退職報

償金支給条例の一部改正につ

いて

総務部

市町村合併推進構想（原案）

について

夕張・撫順友好交流事業につ

いて

第二回定例市議会提出案件に

ついて

イ、市吏員懲戒審査委員会委

員の選任について

ロ、職員団体のための職員の

行為の制限の特例に関する

条例の一部改正について

ハ、専決処分報告について

教育委員会

夕張市子ども基金の運用につ

いて

夕張市体育施設設置条例の一

議会議事録 協議する代表者会議



部改正について  
指定管理者の指定について  
夕張岳ヒュッテの開設について

財政部

専決処分について  
イ、平成十七年度予算  
ロ、平成十八年度予算  
その他各部より補正予算の説  
明がなされました。

観光対策本部

石炭の歴史村のオープニング  
について  
ゴールデンウィーク・キャラ  
クターショーについて  
歴史村集客対策のバスポート  
料金の割引について  
観光シーズンに向けた観光客  
対策について  
めろん城酒類製品の価格改定  
について  
「ユーパロの湯」と「夕鉄タ  
ーミナル」間の運行バスの減  
便について  
ゆうばり国際映画祭2006  
の動員報告について  
平成十七年度主要観光施設の  
入り込み状況について

理事業に伴う地元住民説明会  
について  
市営住宅及び道営住宅の公募  
結果について

第七回

六月十五日  
出席六名

建設水道部

夕張市平和運動公園施設条例  
の一部改正について  
市道路線の認定及び変更につ  
いて  
専決処分の承認を求めること  
について  
専決処分の報告について  
イ、損害賠償額の決定

産業経済部

ゆうばり植栽による景観整備  
計画の一部変更について  
夕張シューパロダム建設事業  
の促進並びに工事に伴う地域  
活性化に関する要望について  
平成十七年度旭林道災害復旧  
工事の繰越明許費繰越額につ  
いて  
平成十七年度市場事業会計決  
算に伴う平成十八年度市場事  
業会計繰上充用のための専決  
処分について

## 建設経済 常任委員会

第五回

四月二十四日  
出席五名

建設水道部

平成十七年度市内業者発注状  
況について  
平成十七年度降雪量及び除雪  
出勤状況の実績について  
平成十八年度市営及び道営住  
宅入居者の公募結果について  
浄化槽設置に伴う汚水処理水  
の道路側溝への排水について  
産業経済部  
公設市場のシャッターの修繕  
について

第六回

五月十五日  
出席六名

建設水道部

平成十八年度夕張シューパロ  
ダム建設事業の概要について  
平成十八年度高速道・国道・  
道道等事業の概要について  
平成十七年度高速道・ダム建  
設事業に関する市内業者の受  
注状況について  
平成十八年度本町土地区画整

## 厚生 常任委員会

第五回

四月十四日  
出席六名

市民福祉部

障害者の自立支援について  
市立総合病院  
平成十八年四月の診療体制に  
ついて

夕張市立総合病院運営検討委  
員会設置要綱(案)について  
第七回  
六月十四日  
出席五名

市民福祉部

ごみの分別収集について  
共同浴場入浴料金の改定につ  
いて  
国民健康保険料の改定につ  
いて  
指定管理者の指定について  
障害程度区分認定審査会の設  
置について  
団体事務の移管について  
マイクロボスの配置換えにつ  
いて  
条例改正について  
イ、夕張市共同浴場設置条例  
の一部改正について  
ロ、夕張市リフレッシュセン  
ター清陵設置条例の一部改  
正について  
ハ、夕張市国民健康保険条例  
の一部改正について

市立総合病院

一般病棟の運用変更について  
その他各部より補正予算の説  
明がなされました。

市立総合病院  
救急医療体制について

# 議会日誌

平成18年5月～7月

## 5月

- 11日 全国自治体病院経営都市議  
会協議会第34回定期総会  
(東京都)
- 17日 厚生常任委員会道内視察  
(19日まで)
- 22日 主要道道夕張新得線建設促  
進期成会総会・要請行動  
(札幌市)  
北海道市議会議長会産炭地  
域振興協議会役員会・総会  
(札幌市)
- 23日 全国市議会議長会第82回定  
期総会(東京都)

- 24日 全国市議会議長会産炭地域  
振興協議会実行委員会  
(東京都)
- 29日 総務文教常任委員会道内視  
察(31日まで)

## 6月

- 2日 第2回臨時市議会
- 6日 空知産炭地域振興協議会  
(夕張市)
- 13日 議会運営委員会
- 19日 議会運営委員会
- 20日 第2回定例市議会  
(22日まで)
- 30日 議会だより編集会議

## 7月

- 4日 財政再建調査特別委員会
- 7日 議会だより編集会議
- 14日 議会だより編集会議

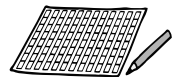
## 来夕議会

- 5月23日 栃木県大田原市議会
- 5月24日 長崎県佐世保市議会
- 6月28日 福井県勝山市議会
- 7月 7日 東京都台東区議会
- 7月12日 大分県竹田市議会
- 7月18日 新潟県長岡市議会
- 7月19日 愛知県岡崎市議会
- 7月26日 新潟県加茂市議会

## 会派役員の 変更について

市民連合  
会 長 田 口 久 一  
高志会  
会 長 山 本 勝 一  
政調会長 新 山 純 一

## 編集 後記



第二回定例市議会の冒頭、後藤夕張市長は、夕張市が財政再建団体として、法の下での財政再建に取り組まざるを得ない状況に立ち至った事を表明しました。  
夕張は、炭都から観光へと幾多の困難の中で進んできました

が、今、さらなる困難な歩みの中に置かれる事になりました。市民の皆様の厳しいご意見をしっかりと受け止めて、少しでも安心して暮らせる再建計画づくりに協力し、一日も早く正常な自治体に戻れるよう最大限の努力をまいります。

## 高橋勝夫議長逝去



高橋勝夫議長は五月一日逝去されました。

六十七歳。

高橋勝夫議長は、昭和六十二年夕張市議会議員に初当選以来、連続五期十九年にわたり在職し、平成十五年五

月から議長に就任され活躍されておりました。

永年にわたり地方自治の育成発展に貢献したとして、その功績を認められ正六位旭日双光章が贈られました。

### 議会事務局

局長 佐藤 憲道

次席兼総務係長 鈴木 剛樹

(建設経済常任委員会担当)

総務係主査 大島 琢美

(総務文教常任委員会担当)

総務係 辻 一郎

(厚生常任委員会担当)

総務係 飯田 美恵

七月一日付人事異動で一部変更がありました。

ご意見・ご感想をお寄せください。

ご意見の連絡・送付先

夕張市議会事務局

本町四丁目 ☎ 五二 三二七二